



第73回山行報告(黒山三滝～顔振峠)

2019年3月28日(木)

越生駅からバスで黒山に行き、黒山三滝から傘杉峠、顔振峠を経由して吾野駅に行く
関東ふれあいの道を歩きました。顔振峠からの山並みは義経が京落ちで奥州へ逃れる際、あまりの絶景に何度も振り返ったため名付けられたと伝説があるくらい美しい



参加者は左から田栗(信)さん、千田さん、楯列さん、中原会長、草刈さん、西澤さん、鈴木さん、内藤さん、(小林)の9名



バス停から黒山三滝入口を望む



天狗滝



男滝、女滝が眼下に見える→



↑↓傘杉峠へ

《山行記録》

最高標高 622M 大峰(雨乞塚)
 距離 約8キロ
 時間 黒山三滝入口スタート9時45分
 吾野駅着14時50分
 約5時間(休息・食事時間込)
 標高差 約420m





「顔振峠」にある平九郎茶屋の屋号は、かつて戊辰戦争の一つであった「飯能戦争」が勃発した際に、彰義隊分派の振武軍の参謀であった渋沢栄一の見立養子（栄一の妻の弟）である渋沢平九郎が、戦いに敗れ逃亡中に立ち寄ったことから名付けられた。



吾野駅へ

お疲れ様でした